

<第2回 北海道プライマリ・ケア フォーラム テーマ>

チャレンジ！プライマリ・ケア～みんなで育む北海道の医療～



基調講演

座長 松前町立松前病院 院長 木村 真司 先生

「地域で求められる家庭医になるためには？」

～あえて考える、なりたい家庭医との違い～

講師 多摩ファミリークリニック 院長 大橋 博樹 先生

日時：平成26年11月29日(土) 13:00～18:30

会場：北海道立道民活動センター(かでる2・7)

札幌市中央区北2条西7丁目

参加費
<学生・初期研修医>
無料
＜支部会員＞2,000円
＜非支部会員＞4,000円

対象：医療系学生、研修医、若手医師、各種医療専門職

プログラム

12:00～会場受付

13:00 開会

13:40～15:00 セッション1

① ワークショップ1 「ささえる医療と福祉のカタチ～定期巡回随時対応訪問介護サービスを学ぶ～」

代表講師：村上 智彦 先生 (ささえるクリニック/NPO 法人ささえる医療研究所)

② ワークショップ2 「多職種連携ケースカンファレンス」

代表講師：澤井 敏朗 先生 (勤医協 月寒ファミリークリニック 薬剤師)

③ ワークショップ3 「地域医療と海外医療協力活動

～Think globally, Act locally 国際協力から見えてくるプライマリ・ケア～

代表講師：大泉 樹 先生 (留寿都診療所/どさんこ海外保健協力会)

15:20～16:40 セッション2

① ワークショップ4 「地域コミュニティケアって何？事例を通じて体感してみよう」

代表講師：中川 貴史 先生 (北海道家庭医療学センター/町立寿都診療所)

② 特別企画 「総合診療医 Dr.G ～H & M の Clinical Reasoning～」

代表講師：濱口 杉大 先生 (江別市立病院 総合内科)

松浦 武志 先生 (勤医協中央病院 総合診療センター)

17:00～基調講演 「地域で求められる家庭医になるためには？～あえて考える、なりたい家庭医との違い～」

講師：大橋 博樹 先生 (多摩ファミリークリニック)

18:30 閉会

19:00～懇親会 (会場 ホテルポールスター札幌 札幌市中央区北4条西6丁目、会費3,000円)

*本フォーラムは「プライマリ・ケア専門医・認定医更新のための単位」として4単位、
「プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位」として2単位が認定されます。

基調講演 「地域で求められる家庭医になるためには？～あえて考える、なりたい家庭医との違い～」
講師：大橋 博樹 先生（多摩ファミリークリニック）

プライマリ・ケアに興味がある、家庭医になりたいという人が増えています。では、あなたはどんな家庭医になりたいですか？患者さんの背景を考えた、ずっと患者さんに寄り添うお医者さん。何でも相談できるお医者さん、いろいろありますね。今回はあえて地域に求められる家庭医についてお話します。ひょっとすると、今あなたが想像している「なりたい家庭医」とは少し異なるかも知れません。でも、地域で求められる家庭医こそ、カッコいいし、やりがいがあるのです。詳しくは当日！そのためのキャリアプランについてもお話します。ヒントは木村眞司先生です（笑）。お楽しみに！

（ご略歴）

獨協医科大学医学部医学科卒業。武蔵野赤十字病院にて臨床研修修了後、聖マリアンナ医科大学病院総合診療内科・救命救急センター、筑波大学附属病院総合診療科、亀田総合病院家庭医診療科勤務の後、川崎市立多摩病院開院準備に参画。平成 18 年 2 月の開院より総合診療科医長として従事。平成 22 年 4 月多摩ファミリークリニックを開業。

日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本プライマリ・ケア連合学会理事。

ワークショップ 1 「ささえる医療と福祉のカタチ ～定期巡回随時対応訪問介護サービスを学ぶ～」

代表講師：村上 智彦 先生

（ささえるクリニック/NPO 法人ささえる医療研究所）

高齢化が進んだコミュニティでは、キュアからケアへ（戦う医療からささえる医療へ）のパラダイムシフトが起きています。住み慣れたコミュニティで最期まで自分らしく暮らしたいという素朴な願いを叶えるために必要なことは何でしょうか。千差万別の「その人らしさ」をささえるために、医療・福祉介護が何をできるのか、訪問診療や定期巡回・随時対応型訪問介護看護の実践例を通じて、会場のみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

ワークショップ 2 「多職種連携ケースカンファレンス」

代表講師：澤井 敏朗 先生

（勤医協 月寒ファミリークリニック 薬剤師）

IPW(Interprofessional Work)(専門職連携)は現在、医療・福祉におけるニーズの多様化、医療技術の高度化、専門化を背景により一層実践が求められています。本ワークショップでは、IPWの基本を学び、ある複雑で困難な症例に対して多様な専門職による連携を、グループワークを通して経験していただき、皆さんの活動の場において実際に IPW を実践できる考え方、スキルを取得することを目標にします。多職種が参加できるセッションです。

ワークショップ 3 「地域医療と海外医療協力活動 ～Think globally, Act locally 国際協力から見えてくる プライマリ・ケア～」

代表講師：大泉 樹 先生

（留寿都診療所/どさんこ海外保健協会）

地域医療・へき地医療というと、田舎に閉じこもり、ひたすら患者さんと向き合う、といったイメージがあるのではないのでしょうか。ところが、地域医療・へき地医療の実践の中には、国際協力に役立つエッセンスがたくさん詰まっています。また、国際協力を通じた学びは、より広い視野から、医療のみならず、私たちの生活を見つめ直す良い機会にもなります。さあ、自分の殻をぶち破り、世界的規模でプライマリ・ケアを考えてみましょう！

ワークショップ 4 「地域コミュニティケアって何？ 事例を通じて体感してみよう」

代表講師：中川 貴史 先生

（北海道家庭医療学センター/町立寿都診療所）

医療者として、ケアチームを作って地域やコミュニティに働きかけていく「地域・コミュニティケア」という言葉があります。このようなケアのニーズは様々な地域やコミュニティに潜んでいますが、実際にケアへ繋げることは難しく感じるかもしれません。この WS は、参加された皆様が地域・コミュニティケアを「自分にも実践できそうだ」と感じられることを目標としています。WS の中では地域・コミュニティケアの意義やその方法を、レクチャーと事例のディスカッションを通じて体感してもらいたいと思います。

特別企画 「総合診療医 Dr.G

～H & M の Clinical Reasoning～

代表講師：濱口 杉大 先生（江別市立病院 総合内科）、
松浦 武志 先生（勤医協中央病院 総合診療センター）

学生・初期研修医の皆さん！Dr G のカンファレンスを一緒に体感しませんか？北海道を代表する二人の Dr G、濱口先生・松浦先生によるケースカンファレンスです。実際の症例をもとに診断推論の過程や珠玉のクリニカルパルを共有します。参加者の皆さんには回答者となっていただきます。主に学生・初期研修医の先生が対象ですが、後期研修医や指導医の先生方の参加も大歓迎です。参加お待ちしております。

会場アクセスマップ



★お車で越しのお客様は、地下駐車場をご利用ください★

- JR 札幌駅 : 徒歩 12 分
- 地下鉄さっぽろ駅 (10 番出口) : 徒歩 7 分
- 地下鉄大通駅 (2 番出口) : 徒歩 9 分
- 地下鉄西 11 丁目駅 (4 番出口) : 徒歩 10 分
- JR バス北 1 条西 7 丁目 : 徒歩 3 分
- 中央バス北 1 条西 7 丁目 : 徒歩 3 分